

平成28年度事業報告及び決算の概要

平成28年度事業報告・収支決算報告は5月22日・23日の監査を経て、5月30日の理事会、6月26日の評議員会で承認されました。

事業報告書及び決算報告書は社協ホームページに掲載しています。詳細はそちらをご覧ください。(<http://ninomiya-syakyo.jp>)

事業報告の概要

町社協では、少子高齢化や世帯構成の多様化が進む中、ささえあいの町づくりの一助となるよう地域福祉推進のための各種事業を推進しました。

平成28年度は社会福祉法、介護保険法の改正により、各制度が大きく転換したことを受けて、町社協でもそれに対応した法人体制の整備を行いました。また、地域福祉活動の長期的な指針となる第2次地域福祉活動計画を策定しました。

法人運営事業

安心して生活できる地域づくりを目指し、地区社協部会や福祉団体への助成、各種事業を実施しました。また「地域の通いの場」開設に向けて町とともに、支援・準備を進めました。



ヘルパーステーション事業

高齢者等が自分の意思で自立した質の高い生活が送れるよう、ケアプラン作成等の支援やヘルパーの派遣を行いました。また、スキルアップのための研修を定期的に行いました。



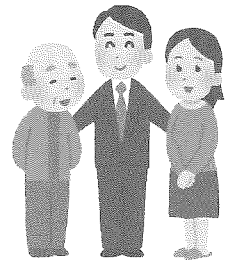
障がい福祉サービス事業

障がい者支援施設カンナカンナを運営し、利用者の生活の向上のため、職業訓練や料理教室、避難訓練等を行いました。また、障がい者が適切なサービス利用を図るため、特定相談支援を実施しました。



地域包括支援センター事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるように、様々な相談の受付や介護予防事業、権利擁護業務、他機関との連携強化による地域での支援体制整備等の活動を行いました。また、平成28年10月より町役場1階に移転し、住民の方の利便性向上を図りました。



ともしびショップ運営事業

障がい者の就労支援のための喫茶店「ともしびショップなのはな」の運営を行いました。また、吾妻山菜の花ウォッチングに参加しました。

誰もがいきいきと豊かに暮らせる町をめざして

二宮町社会福祉協議会 会長 長尾 秀美

秋の気配が色濃くなり、過ごしやすい季節になりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

この度、秋澤前会長の後を受け、6月26日付で社会福祉協議会の会長に就任いたしました。微力ではございますが、地域福祉の推進のため、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度より、社協の重要事項である「第2次地域福祉活動計画」、「地域の通いの場」、「社会福祉法人制度改革」が同時にスタートしました。

第2次地域福祉活動計画は、町の地域福祉の方針を示した「地域福祉計画」と一体的に策定した社協の長期計画であり、計画の基本理念である「ささえあい 誰もがいきいきと豊かに暮らせる町」をめざして、一步ずつ、着実に歩みを進めてまいります。

また、地域の通いの場については、地域の皆さま

が主役となり、10月には町内全域の18箇所で実施されることとなります。

社協では、町と連携し、この通いの場の定着に向けた支援を行うほか、社会資源情報の集約と発信や、社会福祉法人制度改革への対応、この3点を今年度の重点目標に掲げています。

いずれの事業も、地域及び町との一層の協調が求められるため、理事会においても、町との連携強化を期待され、行政機関選出理事として会長職にご推挙いただきました。地域の皆さまはもとより、町と町社協が足並みを揃え、いつまでも安心して住み慣れた場所で暮らすことのできる地域づくりを進めてまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

